

現地研修 F 海遊館コース 報告

担当：大阪府立春日丘高等学校 西元里美

海遊館コースでは、海遊館に移動し、講話およびサメの解剖実習を行いました。魚類環境展示チームの方から、講話①「理科教育における海遊館の活用」講話②「体形やヒレの特徴から魚の生きざまを探る」のレクチャーをいただきました。サメの解剖実習では、高知県土佐清水市 以布利の定置網漁にかかったハナザメ(メジロザメ目メジロザメ科)を使用し、計測と解剖を行いました。サメの特徴である大きな肝臓や、“螺旋腸”と呼ばれる腸の形態などを観察しました。また、硬骨魚類であるキダイ(スズキ目タイ科)の解剖も行い、軟骨魚類との比較も行いました。グループディスカッションでは、参加者の先生方どうして、各都道府県において授業で解剖を行っているか、その意義は…等を意見交流しました。また、水族館と高校がどのような連携を行っているかについて、海遊館の方も交えて双方に有意義なディスカッションができました。ご参加いただいた先生方に厚くお礼申し上げます。



(写真1) 解剖実習の様子



(写真2) 解剖に用いたハナザメとキダイ